

読みやすさと検索機能をさらに追求
日刊産業新聞
DIGITAL
プラステキスト
+TEXT
無料お試しはこちら

日刊 産業新聞
Japan Metal Bulletin

2026年(令和8年)
5月18日(月)
第21414号
Since1936
国内支社局網
中部支社 名古屋市中区上津1-4-12 TEL 052(331)3371
中国支社 広島市南区大須4-8-3 TEL 082(263)5523
北海道支社 札幌市北区七条西4-8-3 TEL 011(756)1321
福岡支社 福岡市博多区博多駅前3-23-22 TEL 092(472)3887
東北支社 仙台市青葉区大町1-1-8 TEL 022(223)9032
北信越支社 新潟市中央区万代4-2-23 TEL 025(244)7600

大同特殊鋼が増収増益
前3月期、販売数量増加

大同特殊鋼が15日発表した2026年3月期連結決算(トータル)は、販売数量が増加し、原材料価格も下落したことで、増収増益となった。一方、営業利益から特別損益に該当する項目を調整した調整後営業利益(実効値)は、オイル・ガス向け掘削関連需要の減少などで、9.2%の減益。期末配当は1株27円(年間同2円増配の49円)を予定する。
売上収益は前年同期比で1.4%増、営業利益は同6.8%増、税引前利益は同4.9%増、当期利益は同14.1%増。26年3月期は、産業機械やエンジンバルブなどの需要増で、鋼材売上数量(単位:トン)が102万5000トンと同1万1000トン増加。調整後営業利益の前期対比増収要因は、鉄スクラップ価格の低下と原燃比1.1%減の2027

プレス式継ぎ手採用拡大
配管施工省人化に貢献

配管施工分野でプレス式継ぎ手の採用が拡大している。背景には、人手不足の深刻化や施工品質の安定化へのニーズがある。従来のねじ込みや溶接比べ、施工時間の短縮や品質のばらつき低減といった利点が評価され、新たな接合方式として存在感を高めている。
市場調査会社のQYリサーチ(所在地:東京都中央区)によると、プレス式継ぎ手の世界市場規模は2025年が11億4000万円(1733億円)に、26年は11億3700万円、32年には13億8100万円に成長すると予測があり、26%の成長率を伸ばし、背景には人手不足による施工省力化、火気不要(溶接不要)による安全性、工期短縮、ニューラル需要の高まりがあるとみられ、ねじ・溶接からプレス式へへの置き換えが進んでいる。
プレス式継ぎ手の性能を十分に発揮するためには、継ぎ手と専用工具の両面から専用開発を進めている。主力製品「モノルコジョイント」は、組め付けの適正な圧力が保証されており、現場での作業負担を軽減する。また、50周年を迎え、現場に合わせた改良を重ねている。
近年、施工現場では作業者の負担軽減を目的に、小型・軽量化の工具が求められており、同社は昨年、小径配管向けの新型継ぎ手「BPN20R」を開発し、現場での作業負担を軽減する。また、50周年を迎え、現場に合わせた改良を重ねている。
英資大手のリオテイント、式典開く
リオテイント、式典開く
英資大手のリオテイント、式典開く
英資大手のリオテイント、式典開く

きょうの紙面
12面 非鉄ニュース
日経金HD、新中計策定

Table with market information including stock prices, LME prices, and company news. Columns include market type, price, and change.

実力ベースは減益
料況などで1.4%増、営業利益は同6.8%増

大同特殊鋼が15日発表した2026年3月期連結決算(トータル)は、販売数量が増加し、原材料価格も下落したことで、増収増益となった。一方、営業利益から特別損益に該当する項目を調整した調整後営業利益(実効値)は、オイル・ガス向け掘削関連需要の減少などで、9.2%の減益。期末配当は1株27円(年間同2円増配の49円)を予定する。

専用工具の適正使用課題
リオテイント、式典開く

英資大手のリオテイント、式典開く
英資大手のリオテイント、式典開く
英資大手のリオテイント、式典開く
英資大手のリオテイント、式典開く

TR E 事業益
135億円目指す
5カ年計画策定

TR Eホールディングスは15日、2031年3月期を最終年度とする5カ年の新中期経営計画を発表した。事業益は135億円を目指す。
24年4月に開始した5カ年の第2次中期計画で掲げた「既存事業の強化」と「新分野・新事業への挑戦」は、新中期経営計画でも引き続き推進される。
24年4月に開始した5カ年の第2次中期計画で掲げた「既存事業の強化」と「新分野・新事業への挑戦」は、新中期経営計画でも引き続き推進される。

小川真功商店の全株取得
カノックス、東北地区強化

小川真功商店は、1966年設立の鋼材販売会社カノックスを完全子会社化し、東北地区の強化を図る。
カノックスは、鋼材の供給に力を入れ、顧客との対話を重視した付加価値の提供や、一気通貫のワンストップ体制により、地域社会におよぶ地域産業の発展に貢献しており、今回の取り組みもその一環となる。

金属春秋
鋼の国際相場が連日の過去最高

鋼の国際相場が連日の過去最高を更新中。米国のインフレ攻撃に端を発したホルムズ海峡封鎖の影響で、海外の鋼生産に欠かれない原材料の一つにされている中長期契約には、A1エッセンシャル向け需要拡大など、急激な相場高は製品の原材料コスト上昇を招き、買い控えや素材代替のリスクを伴う。ファンダメンタル分析を得意とするアナリストが最新相場更新で市場の高値警戒感が高まる中、相場反落リスクを指摘する傾向にあるのはこうした理由から。
ところが市場心理に注目するテクニカル分析をすると正反對の結果が導き出される。最高値更新は雲一つない「青天井」未踏の領域に踏み込んだ相場は売りの材料が出現するまで上昇し続けるのがセリ。だから相場を操る投資マネーは簡単に撤退しないうる。巨額の利益を手にする機会を自ら放棄する選択は存在しないのだから。本意ではあるが、もうしばらく投機筋のマネーゲームに付き合わされる展開が続く。

社長執行役員、小野信介取締役専務執行役員
九州・沖縄エリア長に代表取締役専務執行役員

社長執行役員、小野信介取締役専務執行役員
九州・沖縄エリア長に代表取締役専務執行役員
九州・沖縄エリア長に代表取締役専務執行役員

ガーナに輸出したのは、JFEの技術力でした。
人が移動すること、モノが届くこと。それは都市を育て、暮らしを豊かにする力になります。JFEは、短期施工の技術で交通を止めず高架構橋を建設。長く使える鉄と構造で、維持管理コストも減りました。日本で培った技術力が、地域の成長と未来の街づくりを力強く支えています。
サス鉄ナブル!
JFE
WEBでサス鉄ナブル!